

# 全 国 銀 行 概 況

（特定取引勘定設置銀行 20 行）

## 1. 損 益 状 況

（※ 主な項目については表 1・2 を参照）

（表 1）損益状況

（単位：億円、％）

	全 国 銀 行 (108行)		
	2025年度中間期	前中間期比増減額	増 減 率
<b>業務粗利益</b>	71,848	6,570	10.1
国内業務粗利益	49,320	5,560	12.7
資金利益	40,161	6,062	17.8
役務取引等利益	11,236	695	6.6
特定取引利益	363	273	304.0
その他業務利益	△ 2,440	△ 1,470	－
国際業務粗利益	22,528	1,010	4.7
資金利益	11,671	551	5.0
役務取引等利益	4,625	579	14.3
特定取引利益	1,800	△ 2,737	△ 60.3
その他業務利益	4,432	2,617	144.1
<b>経費（△）</b>	37,775	2,188	6.1
人件費（△）	16,509	717	4.5
物件費（△）	18,773	1,318	7.6
税金（△）	2,491	153	6.6
<b>実質業務純益</b>	34,106	4,394	14.8
うち国債等債券関係損益	△ 2,420	△ 1,932	－
コア業務純益	36,527	6,327	20.9
除く投資信託解約損益	35,567	7,342	26.0
一般貸倒引当金繰入額（△）	84	257	－
<b>業務純益</b>	33,988	4,125	13.8
<b>臨時損益</b>	11,125	1,271	12.9
個別貸倒引当金繰入額（△）	578	△ 379	△ 39.6
貸出金償却（△）	522	156	42.5
株式等関係損益	8,706	△ 876	△ 9.1
貸倒引当金戻入益	1,978	1,176	146.6
償却債権取立益	348	58	20.1
その他	1,193	690	137.0
<b>経常利益</b>	45,088	5,379	13.5
特別損益	931	696	296.1
税引前中間純利益	46,019	6,075	15.2
法人税、住民税及び事業税（△）	11,116	2,110	23.4
国際最低課税額に対する法人税等	△ 2	△ 2	－
法人税等調整額（△）	634	△ 768	△ 54.8
<b>中間純利益</b>	34,269	4,735	16.0

（注）業 務 粗 利 益 ＝ 資金利益＋役務取引等利益＋特定取引利益＋その他業務利益

資 金 利 益 ＝ 資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用）

役務取引等利益 ＝ 役務取引等収益－役務取引等費用

特定取引利益 ＝ 特定取引収益－特定取引費用

その他業務利益 ＝ その他業務収益－その他業務費用

実 質 業 務 純 益 ＝ 業務粗利益－経費等

コア業務純益 ＝ 実質業務純益－国債等債券関係損益

コア業務純益（除く投資信託解約損益） ＝ コア業務純益－投資信託解約損益

業 務 純 益 ＝ 業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

（以下は、銀行単体をベースに取りまとめたものである。）

## （1）業務粗利益

**業務粗利益**は、7 兆 1,848 億円（前中間期比 6,570 億円、10.1%増）と増益となった。その内訳を概観すると、以下のとおりである。

### ① 資金利益

**資金利益**は、5 兆 1,832 億円（前中間期比 6,612 億円、14.6%増）と増加した。

うち、国内業務部門は4 兆 161 億円（前中間期比 6,062 億円、17.8%増）と増加した。内訳をみると、資金運用収益は、貸付金利息および預け金利息が増加したこと等により、5 兆 3,952 億円（同 1 兆 6,456 億円、43.9%増）と増加した。また、資金調達費用は、預金利回りの上昇等を要因とする預金利息の増加等により、1 兆 3,812 億円（同 1 兆 410 億円、306.1%増）と増加した。

また、国際業務部門は1 兆 1,671 億円（前中間期比 551 億円、5.0%増）と増加した。内訳をみると、資金運用収益は、貸付金利息が3 兆 6,203 億円（同 5,447 億円、13.1%減）と減少したこと等により、7 兆 4,822 億円（同 8,595 億円、10.3%減）と減少したものの、資金調達費用は、預金利息の減少等により、6 兆 3,156 億円（同 9,145 億円、12.6%減）と減少し、資金運用収益の減少幅を上回った。

### ② 役務取引等利益

**役務取引等利益**は、国内業務部門において、1 兆 1,236 億円（前中間期比 695 億円、6.6%増）と増加するとともに、国際業務部門においても、4,625 億円（同 579 億円、14.3%増）と増加したことから、1 兆 5,861 億円（同 1,274 億円、8.7%増）と増加した。

### ③ 特定取引利益

トレーディング業務に係る**特定取引利益**は、国際業務部門において特定金融派生商品収益が減少したこと等により、2,163 億円（前中間期比 2,463 億円、53.2%減）と減少した。

### ④ その他業務利益

**その他業務利益**は、国内業務部門において、国債等債券売却損が増加したこと等により、損失超過額が増加したものの、国際業務部門において、外国為替売買損が減少したこと等により、収益超過額が増加したことから、1,992 億円（同 1,147 億円、135.6%増）と増加した。

## （2）実質業務純益

**実質業務純益**は、3 兆 4,106 億円（前中間期比 4,394 億円、14.8%増）と増益となった。経費が増加したことから、上記(1)の業務粗利益よりも増益幅が縮小した。なお、コア業務純益は3 兆 6,527 億円（前中間期比 6,327 億円、20.9%増）、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は3 兆 5,567 億円（同 7,342 億円、26.0%増）となった。

## （3）経常利益

**経常利益**は、貸倒引当金戻入益の増加等から、上記(2)の実質業務純益よりも増益幅が拡大し、4 兆 5,088 億円（前中間期比 5,379 億円、13.5%増）となった（増益 83 行、減益 21 行、黒字転換 1 行、経常損失 1 行）。

## （4）中間純利益

**中間純利益**は、3 兆 4,269 億円（前中間期比 4,735 億円、16.0%増）と増益となった（増益 79 行、減益 25 行、黒字転換 1 行、中間純損失 1 行）。

## （5）利回り・利鞘（国内業務部門）

貸出金利回りが 1.19%（前中間期比 0.28%ポイント上昇）となったほか、有価証券利回りが 1.26%（同 0.20%ポイント上昇）となった結果、資金運用利回りは 0.99%（同 0.26%ポイント上昇）となっ

た。預金債券等原価および資金調達原価は、それぞれ 0.82%（同 0.19%ポイント上昇）、0.79%（同 0.22%ポイント上昇）となった。これにより、預貸金利鞘は 0.37%（同 0.09%ポイント上昇）となり、総資金利鞘は 0.20%（同 0.04%ポイント上昇）となった。

国内業務部門の**利回り・利鞘**の推移および計算式等については、「付属表」の第 15 表を参照。

（表 2）資金利益の内訳

（単位：億円、%）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2025年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率	2025年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率	2025年度 中 間 期	前中間期 比増減額	増減率
資 金 運 用 収 益	127,700	7,094	5.9	53,952	16,456	43.9	74,822	△ 8,595	△ 10.3
貸 付 金 利 息	70,546	3,494	5.2	34,343	8,941	35.2	36,203	△ 5,447	△ 13.1
手 形 割 引 料	38	△ 26	△ 41.0	38	△ 3	△ 7.7	-	△ 23	△ 100.0
有価証券利息配当金	30,371	1,319	4.5	10,514	1,653	18.7	19,856	△ 335	△ 1.7
コールローン利息	851	△ 185	△ 17.9	213	150	239.0	638	△ 335	△ 34.5
預 け 金 利 息	17,257	4,659	37.0	7,184	5,178	258.2	10,073	△ 520	△ 4.9
そ の 他	8,637	△ 2,165	△ 20.0	1,660	537	47.8	8,052	△ 1,936	△ 19.4
資 金 調 達 費 用	75,893	499	0.7	13,812	10,410	306.1	63,156	△ 9,145	△ 12.6
預 金 利 息	31,414	3,105	11.0	8,912	7,292	450.2	22,502	△ 4,188	△ 15.7
譲渡性預金利息	10,289	△ 277	△ 2.6	639	536	523.2	9,650	△ 813	△ 7.8
コールマネー利息	778	149	23.6	386	292	312.2	392	△ 144	△ 26.8
借 用 金 利 息	7,011	288	4.3	1,861	894	92.5	5,149	△ 606	△ 10.5
社 債 利 息	1,034	71	7.4	83	9	11.8	951	63	7.0
そ の 他	25,367	△ 2,837	△ 10.1	1,930	1,386	254.7	24,512	△ 3,457	△ 12.4
資 金 利 益	51,832	6,612	14.6	40,161	6,062	17.8	11,671	551	5.0

（注）資金利益 ＝ 資金運用収益－（資金調達費用－金銭の信託運用見合費用）

## 2. 主 要 勘 定

（※ 資金調達・資金運用の主な項目については表 3 を参照）

### （1）資金調達（末残）

**預金**は、国内業務部門において減少したものの、国際業務部門において増加したことから、1,045 兆 9,814 億円（前年度末比 1 兆 4,099 億円、0.1%増）と増加した。

### （2）資金運用（末残）

**貸出金**は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加し、726 兆 480 億円（前年度末比 11 兆 1,420 億円、1.6%増）と増加した。

**有価証券**は、国内業務部門および国際業務部門ともに増加し、284 兆 4,642 億円（前年度末比 8 兆 9,207 億円、3.2%増）と増加した。

**銀行法及び再生法に基づく債権**（銀行勘定の単体ベース）については、「付属表」の第 3 表を、**その他主要資産残高**については、「付属表」の第 2 表を参照。

### （3）純資産勘定

**純資産勘定**の推移については、「付属表」の第 5 表を参照。

国内業務部門＝国内店の円建取引

国際業務部門＝国内店の外貨建取引＋海外店の取引

（円建対非居住者取引とオフショア勘定は国際業務に含む）

（表 3）主要勘定の内訳（末残）

（単位：億円、％）

	全 国 銀 行								
	全 店 分			国 内 業 務 部 門			国 際 業 務 部 門		
	2025年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率	2025年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率	2025年度 中間期末	前年度末 比増減額	増減率
預 金	10,459,814	14,099	0.1	9,129,603	△20,839	△ 0.2	1,330,209	34,938	2.7
譲渡性預金	733,667	8,932	1.2	264,488	14,002	5.6	469,178	△5,070	△ 1.1
貸 出 金	7,260,480	111,420	1.6	5,829,355	75,523	1.3	1,431,124	35,897	2.6
有 価 証 券	2,844,642	89,207	3.2	1,788,887	4,251	0.2	1,055,754	84,956	8.8
国 債	876,414	△1,873	△ 0.2	855,383	△2,699	△ 0.3	21,031	827	4.1
地 方 債	238,759	△4,425	△ 1.8	238,759	△4,425	△ 1.8	－	－	－
社 債	229,754	△5,133	△ 2.2	229,754	△5,133	△ 2.2	－	－	－
株 式	238,237	21,705	10.0	238,237	21,705	10.0	－	－	－
そ の 他	1,261,475	78,933	6.7	226,752	△5,196	△ 2.2	1,034,722	84,129	8.9